

日本医史学雑誌三十五巻総目次

原 著

淫事と精神病

—精神病学説史の一断面—……………岡田 靖雄…一〇〇

明治初期の翻訳育児書……………小嶋 秀夫…三〇〇

緒方洪庵『扶氏経験遺訓』

翻訳過程の検討……………中村 昭…三〇〇

The sources and developments of the

Japanese medical thought……………長瀬 治…三〇〇

内務省所管伝染病研究所……………小高 健…三〇〇

『金匱要略』の文献学的研究(第二報)

—明・無名氏刊『新編金匱要略方論』と
その版本系統—……………真柳誠、小曾戸洋…三〇〇

研究ノート

明治初期遠州における間歇熱……………土屋 重朗…三〇〇

医師坪井芳治の家系と経歴……………泉 彪之助…三〇〇

解剖図に関する一考察

—『カウパー解剖図』から『解剖存真図』への
変容を手掛りにして—……………布施 英利…三〇〇

幕末の長崎におけるシュミットの

医療活動……………園田 健二…三〇〇

前野蘭化の自画自賛について……………木村陽二郎…三〇〇

広 場

「第一大学区東京医学校」なる校名……………小関 恒雄…二〇〇
『明治期における脚氣の歴史』
をめぐる話題……………山下 政三…二〇〇

資 料

江戸幕府の医療制度に関する史料(一)

—元禄十三年『侍医分限記』—……………香取 俊光…三〇〇

池田文書の研究(一)……………池田文書研究会…三〇〇

池田文書の研究(二)……………池田文書研究会…三〇〇

随 想

医史学と私……………久志本常孝…三〇〇

医史学と私……………山中 太木…三〇〇

第90回日本医史学会総会演題目次

特別講演

ベルリン大学医学部と日本…………ゲオルク・ハーリヒ…………二二～二四
 ヨーロッパにおける「遊び」の

概念と、医史学への影響…………グレゴル・パウルク…………二五～二六

会長講演

肥後の医学史…………鹿子木敏範…………二七～三〇

記念講演

楷の木の木蔭に楷を語る

…………山中太木、藤本十四秋、湧上順三…………三三～三五

出島蘭館医カスバル・シャムベルゲル

について…………ミヒエル・ヴォルフガング…………三三～三五

一般口演

1 中国医学と道教(Ⅱ) 薬枕、神枕…………吉元 昭治…………三六～三七

2 湯爾和と北京医学専門学校…………寺畑 喜朔…………三七～二九

3 軍医落合泰藏…………田中 助一…………三〇～三三

4 田代三喜の『三婦廻翁医書』

小児諸病門について…………広田 嘩子…………三三～三五

5 『小品方』卷十一・本草篇の

旧態とその価値…………真柳 誠…………三四～三五

6 六朝時代の医書に現れる

歯病の分類について…………戸出 一郎…………三六～三七

7 佐伯理一郎とその『日誌抜萃』…………長門谷洋治…………三六～三九

8 東博銅人形の製作者および年代につ

いて―幕府医官山崎氏の事跡―小曾戸 洋…………四〇～四三

9 細川桃庵の事跡…………関信之、小曾戸洋…………四三～四四

10 吳秀三先生遺稿について

―ことに「杏壇訪古」のこと―岡田 靖雄…………四四～四七

11 「肥後藩主 細川重賢公による

腊葉帖」供覧…………匂坂 浩…………四八～五〇

12 『蘭方口伝(失物兒杜驗方録)』に

ついて…………中村 昭…………五〇～五三

13 西洋と日本の薬局、処方箋の

正しい調剤の始まり…………中室 嘉祐…………五三～五五

14 自由民権運動にかかわった

川崎の医師たち…………深瀬 泰且…………五五～五七

15 『紫式部日記』の産産・産養いに

見られる医療思想…………長瀬 治…………五八～五九

16 吉益蘇齋について…………岡 利率…………一六〇

17 初代松本医学専門学校長

竹内松次郎先生創業の苦難と

その功績を偲んで…………穴田 秀男…………一六一～一六三

18 波江抽斎自筆『津軽一粒金丹』

秘伝書について…………松木 明知…………一六三～一六四

19 軍陣歯科の小史…………谷津 三雄…………一六四～一六六

20 村井琴山先生の事蹟…………難波恒雄、浜田善利…………一六七

- 21 相良藩の帝王切開術伝承について……鳥越 謙一……二六〇～二七〇
- 22 広島地方の藩医たちとその業績……江川 義雄……二七〇～二七一
- 23 江戸後期芸州山県郡の
牛痘接種の研究……末田 尚……二七二～二七三
- 24 宋應星の『天工開物』
(一六三七年刊)と労働衛生……三浦 豊彦……二七四～二七六
- 25 『黄帝内経太素経』における
経穴の主治症について……高島 文一……二七六～二七八
- 26 倉公淳于意 その二 症例の二……家本 誠一……二七九～二八一
- 27 『傷寒論文字攷統補』について……荒木ひろし……二八二～二八三
- 28 中国医療史における
小児推拿について……山本 徳子……二八四
- 29 中国国家図書館所蔵の
宋刊医籍孤本八種……李 志剛……二八五～二八七
- 30 十九世紀ヨーロッパの医育の変遷
……石田純郎、H・ポイケルス……二八七～二九〇
- 31 眼科症候群名に冠した
人名辞典の作成……奥沢 康正……二八九～二九〇
- 32 John Hunter の
歯科医学的業績について……本間 邦則……二九〇～二九二
- 33 ヒポクラテス「医師の誓い」
をめぐっての歴史的考察……今井 正浩……二九二～二九四
- 34 アンプロアズ・パレの
処女出版とその背景……大村 敏郎……二九四～二九六
- 35 A. Vesaliusの解剖書の図について……酒井 恒……二九七～二九八
- 36 佐賀藩の輸入医学書……酒井 シヅ……二九八～三〇〇
- 37 海上随鷗の在坂期間再考……中山 沃……三〇〇～三〇二
- 38 『医心方』の伝写について (IX)
——仁和寺本——……杉立 義一……三〇三～三〇四
- 39 高木兼寛とヘボン……大滝 紀雄……三〇五～三〇六
- 40 ヘボンと交流のあった人々……高安 伸子……三〇七～三〇八
- 41 明治戊辰戦争における
ウイリスの診療記録とその評価
——日本人医師による越後口戦傷者
記録を中心として——……蒲原 宏……三〇九～三一
- 42 鎌倉幕府の京下官医受容形態の考
察……奥富 敬之……三一～三三
- 43 衛生学者坪井次郎……泉 彪之助……三四～三六
- 44 日本医療団 (第三報)
——戦後の活動と九州地方の
医療団施設——……佐久間温巳……三六～三八
- 45 曲直瀬道三の学友・
西友鷗について……木下 勤……三九～四〇